

# 公益財団法人山形県スポーツ協会 運営指針 令和元年～令和5年

## 課 題

## 推 進 施 策

### 山形県スポーツ協会が重点的に取り組む3つの柱

#### スポーツを通して、健康で明るく活力に満ちた山形県づくりに貢献します

#### 1 みんながスポーツに親しめる環境をつくります

- 生涯スポーツの推進
- スポ協活動の積極的な情報提供

#### 2 世界で活躍する選手を育成します

- 国体及び東北総体に向けた強化
- スポーツ医科学支援体制の充実
- 国際競技大会出場監督・選手への激励
- スポーツタレント発掘事業への支援

#### 3 スポーツ活動を通し、青少年の健全育成に取り組めます

- スポーツ少年団の普及と活動の充実
- 青少年の健全育成
- スポーツ指導者の養成と活用

### 生涯スポーツ

- ①加盟団体の育成
  - 新たな加入希望団体への対応や競技人口の少ない競技団体への支援
  - 法人化等の組織体制の強化、コンプライアンスの徹底
- ②スポーツ指導者の養成
  - 資格を有するスポーツ指導者の活躍する場が少ないこと、指導者の意向と利用者の希望のミスマッチ
  - 最新の科学的トレーニングや指導法を取り入れた講習会の充実
  - 暴力行為根絶に向けた指導者の意識の共有と醸成
- ③総合型地域スポーツクラブの育成
  - 未育成町におけるクラブ創設 ○助成終了後の自立支援
  - 全クラブへの有資格マネージャー配置
  - 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の機能充実
  - 県、広域スポーツセンター、本協会の役割分担の明確化と連携強化
- ④広報事業
  - 広報紙及びホームページを活用した情報発信の充実

### 少年スポーツ

- ①スポーツ少年団
  - 加入率は横ばいだが、登録団員数が大きく減少
  - 魅力ある団活動と団員の確保
  - 中学生以上の団員に対し、団活動の継続促進
  - 登録料収入の減少に対応した事業及び組織の見直し
  - スポーツ少年団と地域スポーツクラブの協働促進
  - 暴力行為根絶に向けた指導者・リーダーの意識の共有と醸成
  - 単位スポーツ少年団への複数の有資格者指導者の配置義務化への対応
  - 中体連、高体連との連携の強化
- ②青少年の健全育成
  - 勝利至上主義に陥らないことや暴力の根絶に向けた啓発の徹底
  - 国際交流活動による国際的視野の育成

### 競技力の向上

- 国体における本県の成績は年毎に変動が大きく不安定
- 得意競技の再構築や新たな得意競技育成などスポーツ環境の整備の必要性
- ジュニアアスリートがトップアスリートとして活躍するための環境整備
- トップアスリートを育成できる指導者及び審判員の養成・確保
- 科学的トレーニングやコンディショニング指導の必要性の増大など医学分野の重要性の高まり
- 全国規模の大会招致

### 財政の確立

- 毎年の取崩しによるスポーツ振興積立金の枯渇など財政基盤の脆弱性
- スポーツ会館の老朽化に伴う修繕費の増大

- ①加盟団体の育成
  - 加盟団体の組織、運営、競技の普及・振興、コンプライアンスの徹底等に係る助言指導
  - 地域の特色あるスポーツづくりの取り組みへの支援
  - 各競技団体のスポーツイベント招致活動への支援
- ②スポーツ指導者の養成
  - 県スポーツ指導者協議会等と連携し、最新の技術や指導方法を取り入れた研修会の開催
  - 県等と連携し、優れた実績や技能をもつアスリートを各競技団体や学校等の中核指導者として確保
  - 指導者資格の周知と活用の拡大
- ③総合型地域スポーツクラブの育成
  - 未育成町への継続的支援、
  - クラブアドバイザーの配置、クラブマネージャーの養成及び資質向上
  - 県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会への支援
  - 地域体育協会、スポーツ少年団、関係機関との連携、協働体制づくりへの支援
  - 広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブ連絡協議会との連携強化
- ④広報事業の実施
  - ホームページ及び広報紙の充実

- ①スポーツ少年団活動の充実
  - 団員拡充や活動の活性化に向け、学校、県、市町村、競技団体及び総合型クラブ等との連携強化
  - 情報発信によるリーダーの重要性に関する意識の醸成、リーダー資格取得及びリーダー活動の促進
  - 暴力行為の根絶に向けた倫理研修会の充実
  - 各種交流活動や交流大会への参加に対する支援
  - スポーツ少年団活動への地域社会や県民の理解を深めるための広報活動の充実
- ②青少年の健全育成
  - 思いやりと感謝の心を持つスポーツマンの育成に向け、指導者講習会等を通じた指導者の意識の一体化の推進
  - 広報媒体を通じた周知
  - 種々の大会やイベント等の機会を活用し、ごみの持ち帰りなど、環境配慮活動への積極的取り組み
  - 日韓青少年交流事業などの国際交流活動に参加
- ③子どもの体力向上に向けた取り組みの推進
  - 子ども体力向上支援委員会の設置
  - 人的資源の学校への派遣

- 国体天皇杯男女総合得点900点以上・順位20位台を目指し、各競技団体の強化体制の充実に向けた助言指導
- 県等と連携した、ジュニア期における一貫指導体制の整備や得意競技の拡大など、強化策の推進
- 山形県スポーツタレント発掘事業等への協力によるジュニアアスリートの発掘・育成
- スポーツ指導員及びスポーツ技術員の効果的な活用
- 県と連携し、本県出身のオリンピック選手輩出に向けた高校生・大学生等の若い世代への支援
- 県企業スポーツ振興協議会と連携し、地域のプロスポーツや企業スポーツとの交流、連携
- 県及び県企業スポーツ振興協議会と連携し、成年選手が本県で競技を継続するための活動環境の確保と県民の気運醸成
- 帯同ドクター・帯同トレーナーによる医学的サポート体制の充実
- 日スポ公認スポーツドクター、スポーツプログラマー・アスレチックトレーナーの資格取得促進及び活用
- スポーツファーマシストの計画的育成及びトップアスリートに対するドーピング防止活動の推進
- 県、市町村、競技団体、関係機関と連携し、競技施設の拡充を図り全国規模大会の招致開催

- 賛助会員の更なる拡大や広告料収入の増に向け、関係機関・企業等へ一層の働きかけ
- 事業の成果の検証及び見直しによる経費の節減の徹底